

ラテンアメリカへの道フェスティバル

渡部千秋

5月3日～5日の3日間ゴールデンウィーク東京のお台場で、日亜修好120周年を中心にエクアドル外交100周年とタイアップして、第一回「ラテンアメリカへの道フェスティバル」が開催され、好天にも恵まれ、20万人を超える人手で賑わい、アルゼンチンを始めとラテンアメリカへの理解と友好の輪が広がり、大盛況で、アルゼンチン大使ほか関係者からも成功に喜びの声が相次ぎました。

今回のフェスティバルは、主催者ラテンアメリカ文化交流協会が東京都の共催と、外務省、日本商工会議所、J A I C A、アルゼンチン大使館他南米各国大使館の後援により開催されました。

当協会も後援者として、アルゼンチン大使館特別ブースの隣に「日本アルゼンチン協会ブース」を構え、連日、理事を中心に延べ20人の関係者をアルゼンチンエリアのサポーターとして提供し、運営の中心部隊として、フェスティバルを盛り上げました。



日本アルゼンチン協会ブース

会場は、フジテレビとホテルヒルトン東京とグランドニッコー東京の間の広いウエストプロムナード全体にアルゼンチンとエクアドルエリアに分か、それぞれ音楽・踊りの野外ステージを中心に、アルゼンチン他各国料理のテント、ドリンクの店、輸入雑貨・アクセサリーの店、南米観光案内や映画の宣伝ブース、ラグビーワールドカップの宣伝ブースなど約30のカラフルなテントが立ち並びいろんな国の人々でごった返す様子は壮観でした。

オープニングセレモニーでは、Enrique y Carolina のタンゴの踊りで盛り上がった所で、ベロー大使の挨拶に続き、当協会永井理事長、外務省中南米局南米課長、主催者ラテンアメリカ文化交流協会三村会長の挨拶等オープニングにふさわしい盛り上がり方でした。



オープニングセレモニー

アルゼンチンステージの方は3日間12:00~18:00まで絶え間なく、エンリケとカロリーナのペアの踊り、彼らの生徒達の踊り、峰万里恵さんのタンゴの歌、アルレット・スエヨスのタンゴ演奏、牧田ゆきのチャマメの歌と演奏、チャカレラ等フォルクローレの演奏と踊り、子供たちの民族舞踊等盛りだくさんでした。当協会スタッフも演奏や踊りの最中、アルゼンチンステージ前の人出の整理の為の通行止めで作業等で汗だくでした。



アルゼンチンステージ エンリケとカロリーナ

出店の方も、チョリパンのミ・チョリパンやアルゼンチン料理レストラン・アガリ、アルゼンチンチーズカチャマイ等物販のCASA ARGENTINA やキルメスビール、アルゼンチンワインの販売を行ったリードオフジャパンのラテン・ドリンク・ステーションも好評でした。アルゼンチン料理チョリパンの美味しさと久しぶりのキルメスビールに堪能したという声も聞こえました。

そして、今年6月のサッカーロシアワールドカップと来年9月日本でのラグビーワールドカップと2つのワールドカップで活躍が期待されるアルゼンチンの宣伝のために、BOCA ジュニアと元アントラーズキーパーの小澤さんもサッカーブースで子供たちの指導をいただき、ラグビーワールドカップ2019組織委員会、日本ラグビーフットボール協会もバッチや投擲ゲームの器具を提供いただき、当協会の理事がこれを使って大勢の子供たちとゲームを楽しみました。

当協会の目的であるアルゼンチンをはじめ中南米との相互理解に寄与した第一回ラテンアメリカへの道フェスティバルであったと思われますので、再び来年開催される第二回フェスティバルにも何らかの形で参画し、やる方も見る方も楽しめるフェスティバルにしたいと思います。

(わたなべちあき：当協会常務理事)